

令和3年4月27日

保護者の皆様

仙台市教育委員会

新型コロナウイルス変異株について（お願い）

日頃より、新型コロナウイルス感染症の対策にご協力いただき、誠にありがとうございます。
現在、いわゆる「変異株」が話題となっています。そこで教育委員会では、去る4月16日、感染症学の専門家である東北医科薬科大学特任教授の賀来満夫先生に「変異株の子どもへの影響」という視点でWEB会議方式によりお話をお聞きしました。

次のように要点をまとめましたので、ぜひ一読いただき、今後のご家庭での対策に活かしていただきますようお願いいたします。

1 変異株の特性などについて

- ・子どもに関しては、変異株のうちN501Yというタイプについて、国立感染症研究所が「18歳未満の人について、従来のものより1.5倍感染しやすい」としており、特に注意が必要です。ただし、10倍・20倍というわけではありませんので、むやみに恐れるものでもありません。
- ・N501Yは現時点では大阪・兵庫などで多くの感染例が報告されています。仙台ではまだそれほど多くはありませんが、今後増えてくることを懸念しています。
- ・重症化について、外国では「N501Yは高齢者が重症化しやすいのでは」という報告や、国内でも「症状が悪化するスピードが速いのでは」という意見があります。仮にそうだとすると、ウイルスそのものの特性というより、感染しやすいため一度に多量のウイルスがくっつき、結果的に重症化例が増える、ということではないかとも考えられます。

2 対策について

- ・変異株であっても、感染対策の手法は従来と同じですが、いわば「子どもの細胞に従来型よりも1.5倍くっつきやすい」ので、これまでの対策をよりしっかりと行う、ということが重要です。
- ・新型コロナウイルスは口内の粘膜や唾液腺に非常に多いので、咳やくしゃみというより「おしゃべり」で感染します。

一番大事なのは、話すときは必ずマスク、です。

(聞き手・まとめ：副教育長)

学校では、これまでどおり、給食や運動などでマスクを外す際は話を控える、ということをはじめ、三つの密（密集・密接・密閉）の条件が同時に重ならないよう、またできる限りそれぞれの密を避けるよう場所の設定や活動方法の工夫、換気、黙食、手洗いの励行等対策を講じるとともに、児童生徒等本人が息苦しいと感じた時などには、活動場面等に応じてマスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるように指導を行ってまいります。

ご家庭でも、保護者の皆様ご自身、ご家族の皆様、なによりお子さんのために、職場や外出の際にはしっかりと対策を行っていただきますようお願いいたします。

(仙台市教育委員会)